

平成 21・22 年度 校区外部評価の結果(最終まとめ)について

— 校区外部評価委員による評価結果と学校による内部評価結果 —

評価期間 8月1日～7月31日	学校番号 18	学校名 品川区立伊藤小学校
-----------------	---------	---------------

評価項目 その1【基礎学力の定着に関して】

校区外部評価の設問	評 定 ※外部	評定について ※特記事項のみ記入してください	評 定 ※内部	今後に向けての考え ※特記事項のみ記入してください
〔教師の指導〕 ① 児童・生徒に学習の準備をさせている。 (学習への心構え)	A	教員は、児童が学習の準備を行うように声をかけを積極的に行っている。また、各クラスとも学習の準備はほぼできている。	A (A)	児童が教科書等、次の学習の準備をきちんできよう指導を継続していく。また、個別に指導の必要な児童については、声をかけを多くする等の指導を行う。
〔教師の指導〕 ② 児童・生徒に指示や説明をしっかりと聞かせている。 (学習への意欲・態度)	B	多くの教師は、私語を注意するなど学習規律をしっかりと守らせながら、教師の話をしっかりと聞かせるようによく気を配っている。ねらいがはっきりしていないで、45 分間の学習の目的がはっきりしていない授業もあった。	B (B)	校内の研修等を通して、教師の話は、身体を向け、目を見てだまって聞けるように指導を継続して行う。
〔教師の指導〕 ③ 児童・生徒に正しい姿勢で学習させている。 (学習規律)	A	授業参観の児童の様子から授業中の児童の姿勢はよい。また、教員も個別に姿勢の指導を行っている。	B (B)	授業中の姿勢については三校研究を通して学習規律の一貫として正しい姿勢の指導を一貫して行っていく。
〔教師の指導〕 ④ 児童・生徒を学習に参加させる指示や質問をしている。 (学習活動)	A	学校公開等の授業参観等を見ている限りでは、教員は学習に参加させる指示や質問をしっかりと行っている。	A (A)	全員の児童がしっかりと学習に参加できるよう指示を明確し、質問の内容を工夫していく。
〔教師の指導〕 ⑤ 板書の書き方が丁寧である。 (授業の展開)	B	教員は丁寧に書いている。授業の展開に沿って効果的かどうか、まだ工夫する余地がある。	B (B)	読みやすく丁寧な板書を継続していく。また、児童の発達段階に合わせたまた、学習の流れや、大切なポイントが分かるような板書も工夫していく。
〔教師の指導〕 ⑥ 児童・生徒の意見を正しく聞き入れ、質問にはわかりやすく答えている。 (児童・生徒への対応)	A	児童の意見を一生懸命に聞いている教員の姿が多い。また、児童に分かりやすく丁寧に答えている教員が多い。	A (A)	児童の意見等を正しく正確に聞き入れ、質問には丁寧にわかりやすく答えるように今後も努力していく。
〔教師の指導〕 ⑦ 机間を回り、個々の児童・生徒の学習の様子を確認している。 (個別対応)	A	授業参観等では教員は机間をよく周り、一人一人の児童の学習を確認するとともに声かけもよく行っている。	B (A)	授業形態に応じて、個別指導も兼ねた机間指導を行い、児童の学習の様子を把握するとともに、一人一人に応じた丁寧な指導を今後も行っていく。
〔教師の指導〕 ⑧ 授業に工夫が見られる。 (授業の工夫)	B	多くの教員が努力をし、工夫していると思う。教師が黒板に書いているとき、多くの子どもが時間を持てあましていた姿を見た。事前に発言を予想し紙に書いておくなどの工夫も必要ではないか。	B (B)	児童の実態をよく把握し、教材教具等を準備するなど授業が効率的に行われ、児童にとって授業時間中、十分に学習活動ができるよう工夫していく。
〔教師の指導〕 ⑨ ノート等に正しく丁寧に文字や数字を書かせている。 (基本的な指導)	A	教員は、正しく丁寧に書かせようと指導している。また、個別指導も行っている。	B (B)	常に意識して文字を正しく丁寧に書くよう指導していく。また、学習中以外でも児童が意識して正しく丁寧に文字や数字を書くよう指導を継続する。丁寧な文字が書けていない児童には個別に対応し、声かけや励ましを行いながら確認していく。
〔教師の指導〕 ⑩ 児童・生徒の顔をしっかりと見ながら授業を進めている。 (状況確認)	A	全校で取り組んでいる教員の意識的なアイコンタクトの指導により、一人一人の児童の状況をつかみながらの授業が進められている。	A (A)	これからも話をするときや話を聞くときには「アイコンタクト」を合い言葉にして、アイコンタクトの重要性を指導していく。教師は児童の顔をしっかりと見ながら授業を進めている。
〔教師の指導〕 ⑪ 授業のねらいが明確である。 (指導)	B	学校公開等の授業参観では多くのクラスでは、ねらいが明確に授業が進められている。しかし、何を指導しているのか分かりづらいクラスもあった。	B (B)	三校研究、校内研究、区の教育会の研究、市民科授業公開講座等での研究実践を生かして、日頃の授業の改善を図り、ねらいが一層明確になるよう、互いの研鑽や指導をしていく。

<p>〔教師の指導〕 ⑫ 一人一人の児童・生徒の学習状況を確認している。 (評価)</p>	B	<p>教員の力量が影響するのではと思われる。伊藤小では各教科の単元末やステップアップ学習後のテストをして一人一人の定着度を確認している。また、その様子を保護者会等で情報提供している。</p>	B (B)	<p>今後も単元末のテストなどを集約し、学校全体として学力の定着度を確認していく。また、毎日の授業においてもノートやテストや発表等で児童の学習状況を確認していく。</p>
<p>〔教師の指導〕 ⑬ 家庭学習を習慣化させている。 (家庭との連携) ●</p>	A	<p>学校全体の取り組みとして、保護者への啓発だけでなく、子どもへの指導を通して家庭学習の定着を図っている。</p>	A (A)	<p>小中の三校が連携して行っている家庭学習の習慣化を継続していく。学年×10分を家庭学習のめやすとして、毎日課題を与えながら各家庭と連携して習慣化できるようにする。</p>
<p>〔授業の様子〕 ① 話の聞き方や発表の仕方など、学習ルールが守られている。 (学習のきまり) ●</p>	A	<p>担任の裁量によって様々であるが、学校全体としてよく取り組んでいる。特にアイコンタクトなど具体的な指導がよい。</p>	B (B)	<p>三校研究会でアイコンタクトなど共通のルールを決めて取り組んでいる指導を今後も継続し、9年間を見通した視点に立ち取り組んでいく。</p>
<p>〔授業の様子〕 ② 児童・生徒同士で考えたり話し合ったりする活動がある。 (集団での学習活動)</p>	B	<p>授業の中では、児童同士はきちんと話をすることができているように思えた。</p>	B (B)	<p>児童同士で考えたり、話し合ったりできるような活動を日々の学習の場に取り入れていくようにする。また、話し合った内容についても指導を行うようにする</p>
<p>〔授業の様子〕 ③ 児童・生徒が課題に一所懸命に取り組んでいる。 (学習に対する児童・生徒の意欲)</p>	A	<p>学校公開の授業参観では、ほとんどの児童が課題に一生懸命に取り組んでいる姿が見られる。</p>	B (B)	<p>学習に対して児童が意欲的に課題に取り組めるようよりよい授業改善を継続的にやっていく。</p>
<p>〔授業の様子〕 ④ 全体的に活気がある。 (学ぶ意欲にあふれた学級づくり)</p>	A	<p>学習中、児童はよく挙手をし、発言もよく行い、活気があり元気がある。</p>	A (A)	<p>失敗をおそれずに発言できる学級の雰囲気づくりを行う。発問を工夫などして、教師の発問に対して積極的に反応する児童を増やし、活気ある学級づくりを継続していく。</p>
<p>〔学校の様子〕 ① 学力の定着・向上に対して、小学校と中学校の先生が定期的集まり協議している。 (小中一貫教育の推進) ●</p>	A	<p>継続して三校の研究に取り組み、定期的に中学校と協議している場があり、各教科ごとに学力向上についてよく話し合っている。また、部活交流、連携授業なども盛んである。</p>	B (A)	<p>三校研究の内容面を深め、更に学力向上に向けての研究を深めていく。特に、国語科、算数・数学科を始め、6教科の学力については、研究授業を通して検証していく。また、連携授業などについても内容を改善しながら推進していく。</p>

評価項目 その2【社会性・人間性の育成に関して】

<p>〔児童・生徒の姿〕 ① 児童・生徒は、誰に対しても礼儀正しくあいさつ(会釈も含む)している。(望ましいあいさつ・返事、基本的習慣)</p>	B	<p>向上はしているが、まだ努力できるのではないかな。</p>	B (B)	<p>三校で取り組んでいる挨拶月間の他本校で取り組みはじめた挨拶隊などで進んで挨拶できるようにしていく。特に来校している方に対しては、知らない人でも積極的に挨拶するように指導する。</p>
<p>〔児童・生徒の姿〕 ② 児童・生徒は、学校のきまりやマナーを守って活動している。 (規範意識・校則の理解と励行)</p>	A	<p>休み時間中や教室移動の児童の様子を見ると、集団としてのきまりをしっかり守って行動している。</p>	B (B)	<p>今後も日々の指導の中で具体的にきまりを守らせる指導を継続していく。また、生活指導部を中心として学校全体として共通の考えで指導を進めていく。</p>
<p>〔児童・生徒の姿〕 ③ 児童・生徒同士は、適切な言葉遣いをしている。 (学校での言語環境)</p>	B	<p>全体的にはよいが、地域の中でみていると、全体的におとなしい感じがする。もっと元気があってもよい。人を配慮しての言葉遣いかどうかは課題がある。</p>	B (B)	<p>市民科の学習や日々の指導を通して、生活の場面を取り上げて指導し、児童の地域の生活の中でもくん、さんを付けて呼ぶ、やさしい言い方など、適切な言葉遣いを指導していく。</p>
<p>〔児童・生徒の姿〕 ④ 児童・生徒は基本的な生活習慣が身に付いている。 (家庭生活)</p>	B	<p>学校での様子を見るとおおむねできているように思う。しかし、近年の傾向として保護者の生活時間に合わせ就寝が遅くなる等の傾向があり、課題があるのではないかな。</p>	B (B)	<p>校内での基本的な生活習慣も含め、朝食の摂取、登校時間の遵守、睡眠時間の確保など家庭に継続的に呼びかけ、家庭と連携をとりながら基本的な生活習慣を身に付けさせていく。</p>
<p>〔児童・生徒の姿〕 ⑤ 児童・生徒は学習用具の忘れ物をしない。 (基本的な生活習慣)</p>	B	<p>多くの児童は忘れ物をしていないようであるが、忘れ物をよくする児童もいるということなので、まだ努力が必要である。</p>	B (B)	<p>粘り強く忘れ物をしないように連絡帳に書かせるなど各クラスの実態に合わせて指導をしていく。</p>

<p>〔教職員の姿〕 ① 服装や身だしなみなどに気を付けている。 (社会人としての基本)</p>	A	学校公開等で見える限りでは、先生方TPOを考えていて、服装や身だしなみがよいと思う。	B (B)	身だしなみをきちんとするよう教員同士互いに声を掛け合っていく。
<p>〔教職員の姿〕 ② 児童・生徒に対して、場に応じた適切な言葉遣いをしている。 (模範であることの自覚)</p>	A	授業中や休み時間での姿から、教員は指導者としての自覚を持ち、児童に対して場に応じた適切な言葉遣いをしている。	B (B)	指導する立場の教師の言葉遣いが子どもに与える影響の大きさを自覚し、適切な言葉遣いを今後とも行っていく。
<p>〔教職員の姿〕 ③ 保護者・地域の方々に対して、礼儀正しく接している。 (他者に対する接し方)</p>	A	挨拶など、言葉遣いもよく礼儀正しく接している。	A (A)	保護者や地域の方々に対してのあいさつや言葉遣も正しく行い、地域に信頼されるよう今後も努力をしていく。
<p>〔教職員の姿〕 ④ 児童・生徒の模範となる態度を心がけている。 (大人モデルとしての意識と自覚)</p>	A	学校公開で授業や休み時間の様子を見る限りでは、模範となる態度で児童を指導している。	B (B)	模範となる態度で接することを継続する。また、互いに声を掛け合っていく。
<p>〔教職員の姿〕 ⑤ 児童・生徒の気になる言動や態度に対してその場で指導している。 (生活指導)</p>	A	児童の気になる行動に対してはその場で指導を行っている。	A (A)	生活指導の原則として、児童の気になる行動については、その場で指導している。今後もその場での指導を継続していく。
<p>〔教職員の姿〕 ⑥ 児童・生徒の生活指導上の問題について、小学校と中学校で話し合いをしている。 (小中一貫教育生活指導の姿勢) ●</p>	A	三校の生活指導部ではあいさつや話の聞き方について小中で話し合いをし、共通に実践している。	B (A)	今年度は、挨拶等について強化月間を設けて指導を行った。これからも三校研究を通して、9年間を見通した生活指導を進めていく。また、問題行動についても迅速に情報を共有しながら三校で問題の解決を図っていく。
<p>〔教職員と児童・生徒の関係〕 ① 児童・生徒は教職員に対して、年長者に対する言葉かけや態度で接している。 (望ましい人間関係)</p>	A	教職員への言葉かけや態度は、学年が上にあがるにつれ良くなっているため、教員の指導がきている。	B (B)	教職員に対して、年長者に対する言葉かけや態度ができるよう、その都度指摘し指導していく。
<p>〔教職員と児童・生徒の関係〕 ② 児童・生徒は、教職員の注意や指示を素直に聞き入れている。 (毅然とした態度と信頼)</p>	A	授業中の児童の態度はよい。また注意されたときも態度も素直である。	B (B)	授業中における学習規律については教員の声掛けなど指導を継続していく。また、生活指導上の注意や指示も毅然とした態度で行い、良い行動が進んで行えるようにしていく。
<p>〔教職員と児童・生徒の関係〕 ③ 教職員は、児童・生徒一人一人へ自然に話しかけている。 (児童・生徒との日々のコミュニケーション)</p>	A	休み時間など児童が先生に打ち解けた雰囲気の中で話しかけている。児童が話しかけるといのは、普段の指導や生活の中で受容的な態度で接している、教職員が児童によく話しかけている結果でと思われる。	A (A)	受容的な姿勢で普段の指導や生活の中で児童に話しかける等を意識的に行っていき、児童との人間関係づくり高めていく。
<p>〔地域の方と児童・生徒の関係〕 ① 生徒は、地域の行事に参加している。 (地域行事への参加意識、活動状況) ●</p>	A	地域の行事に多くの子どもが参加している。また、保護者も熱心である。4丁目は伊藤学園の学区でもあり、伊藤小学校で行われる行事の参加が少ないような印象がある。	B (A)	地区祭りや商工会祭りなど、地域の行事への参加率は高いが、さらに積極的に参加を勧め、地域を愛する子どもたちを育てていきたい。

評価項目 その3【保護者・地域との連携に関して】

<p>〔教職員の姿〕〈保護者向け〉 ① 学級における学習や生活の様子を伝えている。(情報提供)</p>	A	個人面談などで子ども様子を詳しく伝えている。また、学級通信などでも子どもの良い所など保護者に伝えている。	B (B)	これからは学年だよりや学級通信、個人面談、保護者会等で、子どもの学校での姿がよくわかるように、多くの情報を提供していく。
<p>〔教職員の姿〕〈保護者向け〉 ② 保護者に誠実な対応をしている。 (説明責任)</p>	A	子ども同士のトラブルや事故など、家庭訪問や電話連絡などですぐに誠実に対応している。また保護者の問い合わせ等も迅速に対応している。	A (A)	児童の日々の様子など、保護者との連絡を密に行い、保護者に誠実な対応をしている。今後も迅速で誠実な対応を心掛けていく。

<p>〔教職員の姿〕〈地域向け〉 ① 地域で会ったときに、あいさつをしている。(礼儀)</p>	A	<p>地域の人と、教職員は礼儀正しくあいさつを行っている。</p>	A (A)	<p>地域の人々と親しく接し、礼儀正しくするように今後も努力していく。</p>
<p>〔教職員の姿〕〈地域向け〉 ② 町会の行事に、教職員が参加や協力をしている。(地域と積極的に連携する姿勢)</p>	A	<p>教職員が町会や地域の行事に毎回多くの参加している。また手伝いもよく行っている。</p>	B (A)	<p>商工会祭りやふれあい運動会などの地域やPTAの行事には多くの教職員が参加・協力している。今後も地域と一体となって子どもの健全育成に努めていく。</p>
<p>〔教育活動への参加〕〈保護者向け〉 ① 学校は保護者が教育活動に参加しやすいように工夫している。(保護者の視点からの学校公開)</p>	A	<p>保護者会等の際に行事など詳しく説明している。また、学校からのプリントでもよく情報をくれるので、保護者が教育活動に参加しやすいよう配慮している。</p>	A (A)	<p>学校公開や大きな学校行事への参加の他に、セーフティー教室、市民科公開講座、学年の行事や授業などに保護者の参加を呼びかけ、ともに子どもの成長を育んでいく。</p>
<p>〔教育活動への参加〕〈地域向け〉 ② 学校は、地域の環境や人材を活用する学習計画を立てている。(地域環境・人材の活用)</p>	A	<p>地域の工場や商店見学、図書館、英語のボランティアなど地域の人材を活用した授業が行われている。</p>	B (B)	<p>はみがき指導、地域の人々から昔の話を聞く、ミュージックエコーなど、地域の人材を活用した授業を行っている。地域の工場や施設見学も行っていく。</p>
<p>〔学校からの発信〕〈保護者向け〉 ① 最新の学校情報を発信している。(保護者の視線に立った情報公開)</p>	A	<p>学校だより、学年だよりを始め、保健だよりや給食だよりも毎月配布され、学校からの情報を発信している。ホームページについてはもう少し工夫が必要である。</p>	A (A)	<p>学校便り等でこれからも読みやすく分かりやすい情報を発信していく。ホームページの内容を工夫し、更新も定期的に行っていく。</p>
<p>〔学校からの発信〕〈保護者向け〉 ② 保護者に成績のつけ方についてわかりやすく説明している。(評価に対する説明責任)</p>	A	<p>保護者会や学年だよりなどで、成績の付け方について説明している。</p>	B (B)	<p>学期末の保護者会等で評価のことについて説明する。また、個々の児童の成績については、個人面談等でわかりやすく説明をしていく。</p>
<p>〔学校からの発信〕〈保護者向け〉 ③ 防災や不審者の情報を速やかに発信している。(防災・安全に関しての情報発信)</p>	A	<p>不審者等の情報を速やかに発信するためのメール配信、連絡網など体制を整えている。</p>	B (A)	<p>防災や不審者情報をすばやく伝えられるよう整備していく。</p>
<p>〔学校からの発信〕〈地域向け〉 ① 学校だより等が地域の掲示板に貼られている。(地域への情報発信)</p>	A	<p>学校だよりは町会の各家庭に配布され、地域の掲示板に毎月新しく貼り変えられ、学校の様子がよく分かるようになっている。</p>	A (A)	<p>学校だよりは各町会のすべての家庭に配布されるよう多く印刷し配布している。それを地域の掲示板に貼っていただいている。今後も継続して学校情報を地域に広めていく。</p>
<p>〔学校からの発信〕〈地域向け〉 ② 管理職は、町会に積極的に参加し、交流を図ろうとしている。(地域連携に対する管理職の姿勢)</p>	A	<p>校長・副校長は町会や地域の行事にも毎回積極的に参加している。</p>	A (A)	<p>地域の祭礼への挨拶や巡回、地域や町会の行事に参加している。これからも地域とともに歩んでいく。</p>

評価項目 その4【環境・美化に関して】

<p>〔学校の状況〕 ① 児童・生徒は落ち着いた生活を過ごしている。(生活指導)</p>	A	<p>教員が生活指導等の指導を行い、児童は落ち着いた学校生活を行っている。</p>	B (B)	<p>学習規律や清掃活動、整理整頓などの生活指導を通して、落ち着いた生活ができるように今後もしていく。</p>
<p>〔学校の状況〕 ② 校内の学習環境が整えられている。(清掃・美化)</p>	B	<p>校舎が校庭の土等を運びやすい校舎の構造になっているが、校庭の砂埃が多い等の環境があるが、清掃等よく行われている。</p>	B (B)	<p>校庭から土が持ち込まれやすい場所は、主事の掃除の回数等を増やし、きれいな環境を整える。水撒きを定期的に行い、砂埃を少なくする。また、清掃活動の指導にも力を入れ、環境を整えていく。</p>
<p>〔学校の状況〕 ③ 児童・生徒による校内清掃が行き届いている。(清掃指導)</p>	B	<p>教員と一緒に清掃活動をやりながら指導を行っている。しかし、清掃活動が行われにくい体育館のギャラリーや砂埃による校舎壁面の清掃に課題がある。</p>	B (B)	<p>児童の清掃の仕方について、生活指導部を中心にして放送等による清掃活動の仕方の共通理解を図るなどの活動を行っていく。また、時折、校舎壁面の水撒きによる清掃を行う。</p>
<p>〔学校の状況〕 ④ 来校者に学校の活動や児童・生徒の活動がわかる校内掲示がある。(学習環境を整える校内掲示)</p>	A	<p>玄関からランチルームにかけても子どもの活動がわかる掲示物や写真が貼られていて、学校全体の取り組みがよく分かり、とてもよい。また、各学級の掲示もよく工夫されている。</p>	B (B)	<p>各行事での児童の活動の写真や、市民科、ステップアップ学習など小中一貫教育の活動を掲示した。これからは各階の掲示物を工夫し、来校者に学校の様子を伝えていく。</p>

<p>〔学校の状況〕</p> <p>⑤ 破損箇所に対する対策が施されている。 (安全管理体制)</p>	A	<p>安全面については、副校長、事務、用務主事で連絡を密にして素早い処理をしている。</p>	B (B)	<p>毎月1回の安全点検を全教職員で行い、破損等に処置を行っていく。また、教職員だけでなく、児童や地域の方々から情報を集めて、安全管理体制を充実させていく。</p>
---	---	--	----------	--

評価項目 その5【独自の特色ある教育活動に関して】

<p>〔小中一貫教育の推進〕</p> <p>○富士見台中学校、上神明小学校との三校が施設分離型連携校として、各教科や生活指導の研究や、連携学習や部活の交流を活発に行っている。 ●</p>	B	<p>三校の連携は定着している。しかし、伊藤小学校にとっては何が課題か、どのように三校を動かしていくのか、各教科ごとの取り組みはどのようにするか、もう少し具体的に提示してはどうか。</p>	B (A)	<p>学習・生活習慣の定着を目指して定期的な研究会をもち、授業研究や連携の交流を行ってきたが、伊藤小学校としての考えを明確にして内容を充実させた研究や交流を行い、成果を上げていきたい。</p>
<p>〔基礎学力の向上〕</p> <p>○伊藤タイムやステップアップ学習の取り組みや学力調査を基にした指導の改善により、基礎学力の向上が図れている。</p>	A	<p>学力調査等の客観的なものでも学力が向上していることが伺われる。</p>	B (A)	<p>区の学力調査の結果を受けての改善策をより綿密に行い、学校全体で取り組み、学力の向上を図っていく。伊藤タイム、ステップアップ学習で使用する自作の教材開発・改善を行い、より定着度を高めていく。</p>
<p>〔少人数指導・習熟度別学習〕</p> <p>○算数科において、少人数指導や習熟度別学習を通して、個に応じた指導が行われている。</p>	B	<p>少人数の指導を3年まで広げた。前は学年を4分割での指導であったが、本年度は3分割での指導で行っている。その違いがどのように表れるか見守りたい。</p>	B (A)	<p>3年生からの少人数の指導を継続して行っていく。また、少人数学習や習熟度別学習では、少人数担当や指導助手を有効に活用し、一人一人の児童に応じたきめ細かい指導の充実を図っていく。</p>
<p>〔幼保小の連携〕</p> <p>○幼保小交流事業の一環として、伊藤幼稚園、伊藤保育園、ひつじが丘幼稚園と給食や遊びや見学などの交流活動が推進している。 ●</p>	A	<p>1年、5年が中心となって保幼小の連携活動を行っている。展覧会や運動会での連携も行い、展覧会の展示物をみても連携の様子が伺える。</p>	A (A)	<p>運動会、展覧会などの行事での交流を継続していく。また、休み時間のあそびの交流活動など日常的な園児と児童の交流を進めていく。</p>